

第3学年 学級活動指導案

指導者 伊藤 雪乃

児童 男14名 女8名 計22名

場所 3年教室

- 1 題材名 「かがやけ！3年生 ～言葉のひみつ～」
学級活動（2）イ よりよい人間関係の形成

2 活動を意図した背景

(1) 児童の実態

本学級の児童は積極的で明るく、人と関わることを好む子が多い。3年生に進級し、「花輪のかがやき3年生～1かいのパワフルリーダー～」という学級目標のもと、普段の学習や活動に意欲的に取り組んでいる。

しかし、相手の思いを想像できずに自分の思いを通そうとして口調が強くなってしまったり、良くない言葉づかいをしてしまったりすることがある。また、自分の思いをうまく言えずに友達同士で誤解が生じてしまい、そこからトラブルになることがあるなど、言葉によるコミュニケーション能力が十分に身に付いていない児童もいる。

7月に行ったQIでは、「つらい思いをしている（言葉）」の項目で「よくある」「少しある」と答えた児童が22人中6人おり、全体の27.2%が学級の中での言葉づかいに困っていることが分かった。また、同じく7月に行った1学期のふり返りでは、学級の取り組みである「元気・やさしさ・ルール」の「やさしさ」が1学期はあまり達成できなかった、という声が児童から多く挙がった。

(2) 教師の思い・願い

本題材は相手の気持ちを想像できる人になってほしいという担任の願いと、友達同士の言葉づかいに困り感を抱えている本学級の児童の実態から設定したものである。自分の気持ちを伝えるための言葉を選び、相手を思いやることの大切さに気付くと共に、互いを思いやってコミュニケーションをとろうとする態度が育成されると考え、本題材を設定した。

指導に当たっては、事前のアンケートの活用を通して1学期の自分の様子を想起し、実態に気付くことができるようにする。そして今後どうしていけばよいか、話し合い活動を通して考えを深めていきたい。

ほとんどの児童が自分の考えをもつことができるが、自己を見つめ直して考える経験はまだ浅い。また、友達の発言を聞いたり、友達の考えの良さを見つけたりすることには課題が見られるため、今回の学級活動を通して、自分以外の考えに触れて考え方を広げるとともに、友達の考えの良さを見つけて共感したり認めたりすることができるようにしたい。

(3) 研究主題に関わって

視点1 かかわる について

- ・話し合い活動でグループの形態を取り入れ、友達とかかわる場を設定することで、より多様な意見を出せるようにする。
- ・Q Uやアンケートの結果を提示することで、学級の人が言葉づかいに困っていることに気付かせたり、自分自身の普段の言葉づかいについてふり返ったりすることで、本時の課題を見つけることができるようにする。

視点2 つながる について

- ・これから自分がどんなことをがんばりたいか決め、一人一人が立てた目標をふり返る活動を設けることで、今回の学習を児童一人一人の生活に生かせるようにする。

3 活動のねらいと評価規準

【活動のねらい】

本活動を通して、言葉の力やよさについて気が付くとともに、みんなで仲良く過ごすためにやさしい言葉を使うための目標を意志決定することができる。

【評価規準】

| | |
|--------------------------|--|
| よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能 | 日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。 |
| 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。 |
| 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 | 自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。 |

4 活動の流れ

| 月 日 | ○児童の活動 ・子どもの思いや願い | 指導上の留意点と 研究に関わる視点 | ◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉 |
|-----------------------|--|---|---|
| 9月20日(水) | ○言葉づかいについてふり返る。(アンケート) ・自分の言葉づかいはどうだったかな。 ・ちょっと良くないときがあったかもしれないな。 | ☆自分の言葉づかいについてふり返る活動を通して、言葉について関心をもてるようにする。 →視点2 | ◎言葉づかいに関する自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 【主体的態度】 〈アンケート〉 |
| 9月21日(木) ～27日(水) | ○アンケートの結果をまとめる。 ・集計し、表やグラフに表す。 | ☆視覚的な掲示を用いて、本時での導入に生かせるようにする。 | |
| 9月29日(火) 本時 | ○「かがやけ！3年生～言葉のひみつ～」 ・自分だけでなく、みんながクラス全体の言葉づかいを良くないと思っているのだな。 ・やさしい言葉をいっぱい使うかがやき3年生になりたいな。 | ☆学習を通して、終末で一人一人がやさしい言葉づかいに対する目標を立てられるようにする。 →視点1・2 | ◎やさしい言葉を使うことの良さに気づき、自分のめあてを意志決定している。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート・発言〉 |
| 9月30日(水) 以降 | ○やさしさふり返りカードに取り組む。 | ☆学習カードに記入した自分の目標が達成できるよう、こまめに声かけを行って意欲づける。 →視点2 | ◎学習したやさしい言葉づかいについて考え、自分の活動に生かそうとしている。 【主体的態度】 〈ワークシート・観察〉 |

5 本時のねらい

日常生活から自分の言葉づかいをふり返り、やさしい言葉のよさに気づき、友達と仲良くするための言葉づかいについて考えることができるようにする。

6 本時の展開

| | 子どもの活動 | ・教師の支援 ◎評価規準 |
|---|--|--|
| つかむ 10分 | <p>1 事前アンケートの結果を見て、学級の言葉づかいの実態を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉づかいがあまり良くない。 ・気をつけて生活している子もいる。 ・自分だけではなくて、学級のみんなが、言葉づかいが良くないと感じているんだな。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p> | <p>視点2</p> <p>QUやアンケートの結果を提示することで、学級の人が言葉づかいに困っていることに気づかせることで、本時の課題意識につながるようにする。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">よい言葉をふやすための、自分の目ひょうを決めよう。</div> | | |
| さぐる 10分 | <p>3 強い言葉やよくない言葉を使ってしまう理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つい怒ったときに言うてしまう。 ・相手の気持ちまで考えずに言うてしまう。 ・あとからだめだったと気づくときもある。 <p>4 やさしい言葉のよさを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい気持ちになる。 ・学級目標のやさしさが達成できる。 ・クラスの雰囲気が良くなる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードとして児童が考えやすいように板書に残す。 ・一人一人が課題を自分事として捉えることができるよう、考える時間を設ける。 ・原因に目を向けることで、改善策を考えやすくする。 |
| みつける 15分 | <p>5 自分の気持ちを相手に気持ちよく伝えるためにはどうしたらよいかグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと良い言い方は…。 ・相手の気持ちを考えると…。 ・言い方も工夫した方が良いんじゃないかな。 <p>6 全体で交流する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・場面設定をしてから考えることで、具体的な言葉を考えやすくする。 <p>視点1</p> <p>話し合い活動で友達とかかわることで、より多様な意見を出せるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを取り入れることで、表情や声の強弱でも伝わり方が変わることに気づくことができるようにする。 |
| 決める 10分 | <p>7 自分のめあてを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて伝える。 ・間違っただ人にどうすれば良いかやさしい言葉で教える。 ・声の大きさなどの言い方に気をつける。 | <p>◎やさしい言葉を使うことの良さに気づき、自分のめあてを意志決定している。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈ワークシート・発言〉</p> |